



# 令和7年度 学校重点目標

2025.4.3

長崎工業高等学校 定時制

## 長工定で人生を変える

～ 自信を持って生き抜くことができる人間力の育成 ～

※人間力・・・自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力

生徒一人ひとりの将来を考えた学習や精神面の成長につながる学びに向けて、全職員がそれぞれの立場で協働しながら取り組むことで、卒業時の満足度 100%を目指す。更に、協定を締結した企業団体や大学等との取組みを加速させることで、生徒確保を行うとともに、生徒の学びの幅と深さを追求し、世の中と乖離のない知識・技術/技能の習得を目指す。

学校重点目標の達成にあたっては、教職員が県職員としての使命を自覚しながら、楽しく、充実感、達成感を持って業務を遂行する。

また、授業・部活動・学級活動・生徒会活動等の場面では、生徒主体となる要素や地域社会との連携、新技術等を今まで以上に積極的に取り入れ、チーム長工定として、改善・修正・学び合いながら、目指す生徒像に向けて取り組む。

### <目指す生徒像>

- 基礎学力の向上と精神面の成長を目指す生徒
- 主体的に行動する生徒
- 失敗しても粘り強く取り組み、考え抜く力を持つ生徒
- 様々な人と繋がり、協働しながら取り組むことができる生徒

裏面あり

## <具体的な目標と取組>

### (1) 基本的な生活習慣の確立

- 時間の厳守と無遅刻・無欠席の実現
- 精神面と体力の強化と健康管理能力の育成
- アルバイトやボランティア活動の推進

### (2) 基礎学力の向上と技術・技能の習得

- 進路実現のための基礎学力の向上
- 資格取得の推進と学び直しの実践
- 技術・技能を習得

### (3) 規範意識の醸成

- 優しさと思いやりの育成
- 物事を正しく判断し、行動できる力の育成
- 時と場に応じた言葉遣い・容姿・振る舞いの精神の育成

### ■その他

- 生徒一人ひとりの特性に応じたきめ細かな支援を行う。特に、発達特性等を持った生徒に対しては、全職員が専門的な知識をもとに適切な対応をする。  
※学習面や特性等であまりつまずきのある生徒に対する校内支援体制を確立する。
- 教員間・組織間の連携を図る（学年・学科・教科・分掌・部活顧問・担任間の連携）。更に、必要に応じて県や外部専門機関等との連携を図る。
- 問題発生時には、まず、管理職への報告を行う。重大事案は、関係者会議を行い、情報共有を図るとともに、対応の協議を行う。
- 問題を抱える生徒については、職員間で情報共有・協議し、対応が遅れないように進める。特に、進級や卒業、進路選択に影響がないように早い段階から計画的に対応する。
- オープンスクール等を実施することで、本校の教育活動を県民へ周知する。
- ふるさと教育を継続し、県内就職を支援する。  
※本校の県内就職目標値 100%（工業全体の県内就職目標値 55%）
- 職員一人ひとりが綱紀粛正を重んじ、不祥事防止に取り組む。
- 超過勤務月 45 時間割合 0%の実現